

しみん基金・KOBÉ NEWS

第 29 号

2012 年 12 月発行



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203(サンピア 2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

現場の力、市民の力



「やるべし、学生諸君!」「専門家主導という点は信頼度が高い」「先駆的な取り組み。必要とされており、優先度が高い」。事前に読み込んだ審査資料をもとに、それぞれの団体についての評価をメモにして、今年 10 月にあった NPO 法人「しみん基金・こうべ」の公開審査会に、初めて審査員として臨みました。

審査は一般枠、特定枠(東日本震災関連)でそれぞれ上限 150 万円の助成をするというものです。今回は一般枠で 14 団体、特定枠で 6 団体に絞り込まれたの当日。会場には団体の代表者らが集まり、熱気と緊張に包まれていました。なんといっても公開方式です。ポイントを絞り込む表現力、必要性を訴えかける熱意、そして強い説得力が求められます。事前に用意した自身の評価をもくつがえす素晴らしいプレゼンテーションが続きました。

NPO が NPO を助成する。それを公開審査で決めるという極めて珍しい仕組み。様々な分野で活躍する人たちの姿に、市民の市民による市民のための活動が、いかにこの社会を支えているのかを、改めて思い知らされました。

内閣府によると、現在 NPO 法人の認証数は全国で 4 万 6 千余りにのぼります。NPO 法が施行された 1998 年にはわずか 200 団体足らずでした。私が就職した 80 年代には「市民団体」と呼ばれ、90 年前後に「NGO」(非政府組織)が登場。ちょうど阪神大震災が起きた 1995 年の前後でしょうか、NPO(民間非営利組織)の存在が震災ボランティア活動という形を通して、さらに拡大・発展していったものと理解しています。

活動分野も広く、最も数が多いのは「保健、医療、福祉の増進を図る事業」。ほかに「社会教育の推進」、「まちづくりの推進」、「子どもの健全育成」や「環境保全」と、実は社会問題化している分野に集中しているのが分かります。独居老人や介護の問題、いじめや虐待、そして地球温暖化……。行政のマンパワーでは足りないところを、NPO がしっかりと支えようとしているのでしょう。

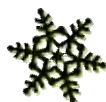
特に今回、審査に参加して印象に残ったのは、専門家たちが自分たちの専門性を駆使して世の中に役立つ活動をしようとしている姿でした。病院が中核となって進める「性暴力被害者のための支援員要請講座と実働研修」事業。医療関係者に加え、弁護士や司法当局との連携も図ろうとしています。そして、大学の工学研究室がつくる「『失われた街』模型復元プロジェクト」。東日本大震災の被災地・宮城県気仙沼市の「防潮堤を勉強する会」に、市内の模型をつくり、将来のまちづくりに活かしてもらおう計画です。

専門家ならではの技を使い、最前線の現場でしか見えない問題点を抽出し、市民による活動の舞台を広げていく。日本では、NPO の歴史はまだまだ浅いものですが、米国のように確実に社会構造の一つになっていくのは間違いありません。いえ、既になっているのでしょう。これからも現場発の視点で活動する市民の力を信じ、私も報道人として広くその活動を伝えていきたいと思えます。

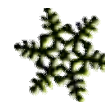
渋谷 卓司(毎日新聞社神戸支局長 / しみん基金・KOBÉ 審査員)

主な目次

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| ◆ 平成 24 年度しみん基金・こうべ助成事業のご報告 2~3 | ◆ しみん基金 KOBÉ 活動報告 ----- 5 |
| ◆ こうべあいウォーク 2013 のご案内 ----- 4 | ◆ 17 年目のひとり言 ----- 6 |



平成24年度しみん基金・こうべ助成事業のご報告



平成 24 年 10 月 30 日(火)13 時～17 時まで、神戸市生涯学習センター(コムスタ・こうべ)301 号室にて、平成 24 年度しみん基金・こうべ助成事業の公開審査会を行い、別表のとおり助成先を決定いたしました。この事業の実施にあたりましては、多くの方々の貴重なご寄付とご協力を賜りました。改めましてここに、心より御礼申し上げます。

当基金では、「市民主役の市民社会の形成」というミッションに共感頂いたひとりひとりの市民のご厚志の蓄積を基にして、過去 13 年間にわたって地域の市民活動・ボランティア団体の事業に対して助成を行ってきました。

今年度の助成事業では、今年で 3 年目となりますが、「次代の担い手の育成を重視する」というテーマを掲げました。

また昨年度同様、東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動に助成する特定枠を設置しました。今年度の特定枠の助成金は、6 月 23 日を皮切りにはじめた「ずっと・こころ・つなぐ基金」上映会&トークサロン(P3 参照)での収益金を充当しています。

*

7 月中旬に応募要項を公表し、7 月 25 日から 8 月 31 日までの期間に申請受付を行いました。公募期間中に事前個別相談会(予約制)を実施して、多くの団体の皆さんにご利用頂きました。最終的に応募総数は、49 件(一般枠:38 件、特定枠:11 件)でした。

その後、9 月 14 日の当基金理事会にて書類審査を行い、20 団体(一般枠:14 団体、特定枠:6 団体)の方々に、公開審査会でプレゼンテーションを行っていただくことになりました。

そして、9 月下旬から 10 月中旬にかけて、当基金の理事等が手分けして各団体の事務所や活動場所を訪ね、ヒアリング



調査を実施いたしました。各審査員へは、申請書類とヒアリング調査結果報告を事前にお読み頂いた上で、公開審査会に臨んで頂きました。

*

公開審査会当日は、書類審査で選考された 20 団体の方々に、各々の助成を受けたい事業の社会的背景や目的、その内容・スケジュール、それによって期待される社会的成果についてプレゼンテーションを行って頂き、審査員との活発な質疑応答がありました。

すべてのプレゼンテーションが終わり、審査員による選考を公開投票形式で行い、下表の 8 団体(一般枠:4 団体、特定枠:4 団体)が助成先と決まりました。その後、同日の当基金理事会にて、公開審査会の結果を受けて、各団体の事業に合計 2,990,000 円(一般枠:1,500,000 円、特定枠:1,490,000 円)を助成することが承認されました。

平成 24 年度 助成決定団体・事業

区分	番号	団体名	事業名	所在地
		事業の目的・社会的必要性(申請書類より抜粋、一部補足)		助成金額
一般枠	1	日本国際学生協会	第 50 回日韓学生会議	兵庫県西宮市
		韓国から学生を招き、日本の学生との対話と文化の紹介を積み重ねていくことを通じて、新時代を担う学生として日韓のより良い友好関係と相互理解を深めていくことを目指しています。		400,000
	2	ノーマライゼーション陸上スポーツ大会実行委員会	ノーマライゼーション陸上スポーツ大会	神戸市灘区
		障害者と健常者がともに障害者スポーツを体験することを通じて、障害者の自立や社会参加を促進させるとともに、市民の障害者に対する理解と相互交流を深めることを目的としています。		225,000
3	特定非営利活動法人 LIC	兵庫・人権啓発プロジェクト～障害者権利条例を作るう！～	兵庫県西宮市	
	講演会や学習会の開催を通じて、「障害者権利条例」の重要性について理解を広げ、誰もが差別されることなく、地域でいきいきと暮らせる社会の実現を目指しています。		375,000	
4	性暴力被害者支援センター・神戸	性暴力被害者のための『支援員(アドヴォケータ)養成講座』と支援活動の実働研修	神戸市須磨区	
	性暴力被害当事者が速やかに医療的・心理的支援を受け、心身の安全を確保し、回復への一歩を踏み出せるように、当事者に寄り添い、適切なサポートができる支援者を養成することを目指しています。		500,000	

区分	番号	団体名	事業名	所在地
		事業の目的・社会的必要性(申請書類より抜粋、一部補足)		助成金額
特 定 枠	5	神戸国際支縁機構	東日本大震災被災地のボランティア事業	神戸市垂水区
		被災地石巻市の農林漁業復興のために、20 代前半のボランティアを派遣してその基盤を復元し 6 次産業化への支援を行うことを通じて、被災者の雇用環境を整えることを目指しています。		100,000
	6	「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会	気仙沼市「防潮堤を勉強する会」模型製作支援	神戸市灘区
		被災地気仙沼市の被災前の街の復元模型を作成し、それを使って行政やコンサルタントと住民が対等な関係でコミュニケーションを取り会う場づくりを行い、真に住民主体による復興に寄与することを目指しています。		500,000
	7	一般社団法人 日本カーシェアリング協会	仮設住宅でカーシェアリング(車の共同利用)を行う事業	神戸市灘区
		カーシェアリングを通じて、中心部から離れた仮設住宅住民の交通手段の確保と、その自発的な「乗合」・「助け合い」の実践を通じてコミュニティ形成支援を行うことを目的としています。		400,000
	8	阪神・淡路大震災まち支援グループ まち・コミュニケーション	住民主体のまちづくりを実現するための寄り添い型コーディネート	神戸市長田区
		復興まちづくりの現場における合意形成を支援するために、現地に常駐して住民主体のまちづくりを実現するための寄り添い型のコーディネートを実施することを目的としています。		490,000

当日ご出席頂いた審査員の皆さん(順不同・敬称略)

- 石東 直子 (石東・都市環境研究室) = 審査員長
- 中瀬 勲 (兵庫県立大学)
- 相川 康子 ((特活)NPO 政策研究所)
- 河口 紅 ((特活)さんびいす)
- 齋本 郁 (あじさい基金 - しみん基金こうべを支える会)
- 津久井 進 (弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所)
- 中島 淳 (神戸芝居カーニバル実行委員会)
- 山田 剛司 (社会福祉法人えんぴつの家)
- 渋谷 卓司 (毎日新聞神戸支局)

今年度の傾向

今年の公開審査会は、出席された審査員の講評の中でも何人かの方が言及されたのですが、震災を契機としてこれまでとは違ったかたちで社会を動かそうとしているところに支持が集まったことが、特徴でした。

しみん基金・K O B E 特別賞

平成 24 年度「しみん基金 K O B E 特別賞」は、当基金理事会にて審議した結果、「(特活)ジョナサンフレンズ」に贈呈致しました。

「ずっと・こころ・つなぐ基金(東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金)」

上映会 & トークサロン ご報告と次回ご案内

しみん基金・K O B E では、『東日本大震災被災者支援ボランティア活動基金:(愛称)ずっと・こころ・つなぐ基金』への寄附を募ることと合わせて、被災地から遠く離れていて風化しがちな意識を、映像を通じて振り返り、実際に被災者の支援活動をされている人たちのお話をお聴きして、今感じている想いを共有し、それを K O B E 発の災害支援ボランティア活動団体に託することで、被災者支援につなげていくことを目指して、これまでに下表のとおり 4 回の「ずっと・こころ・つなぐ基金」上映会 & トークサロンを開催してきました。

これまでに、6月23日に兵庫県立美術館で開催した上映会 & シンポジウムも含めて、¥604,500のご寄付を頂きました。ご参加・ご協力頂きました皆様方に心より御礼申し上げます。

*

次回の開催を下記のとおりです。詳細は HP をご覧下さい。

日時:平成 25 年 1 月 21 日(月)18:30 ~ 21:00

場所:神戸映画資料館

上映作品:「禁じられた大地・フクシマ」

ゲスト・スピーカー:栗本一紀氏(上映作品制作監督)

	日付	場所	上映作品	共催者(ゲスト・スピーカー)
1	8 月 25 日	岡本好文園ホール	「東北再興の記録 3.11」	岡本商店街振興組合
2	9 月 7 日	神戸映画資料館		(特活)神戸まちづくり研究所
3	10 月 13 日	西宮市男女協働参画センター		(特活)アットホームホスピス
4	12 月 11 日	ギャラリー島田	「禁じられた大地・フクシマ」	アートサポートセンター神戸



兵庫県「地域づくり活動支援事業 NPO等イメージアップ作戦(寄附募集支援)」受託事業
寄附文化醸成セミナー～新しい寄附社会の創造 **ご報告と次回ご案内**



平成24年9月24日(月)と26日(水)の2日間にわたって、第1回寄附文化醸成セミナーを、兵庫県民会館にて開催しました。

平成23年6月に、「NPO法改正」と「新寄附税制」という、市民活動を支える2つの大きな制度改革が実現しました。これらの趣旨を活かしてNPO等が市民から信頼される組織となるためには、これからの市民社会における寄附税制改正の意義をしっかりと理解して、社会に向けて発信していくことが求められています。このセミナーでは、今回の制度改革の要点、特にNPOにとって大切なポイントを解説し、合わせてNPO等が知っておかなければならないファンドレイジングの基礎知識を学ぶことで、新制度の実効性を高めることをねらいとしました。実施概要は下記の通りです。

1日目(9月24日)

・基調講演:**新野幸次郎氏(公益財団法人神戸都市問題研究所・理事長、当基金顧問)**

「新しい市民社会における寄附税制改正の意義」

・新野先生を囲んでの質疑応答・意見交換

2日目(9月26日)

・セミナー :**脇坂誠也氏((特活)NPO 会計税務専門家ネットワーク・副理事長)**

「寄附税制と認定NPO法人制度改訂の要点」
 ・セミナー :**江口聰((特活)しみん基金・K O B E 事務局長)**
 「NPO等における寄附集めの基礎知識」



両日合わせて、延べ60名のNPOの方々にご参加頂きました。皆様のご参加・ご協力に心より感謝申し上げます。

なお、第2回寄附文化醸成セミナーの開催概要は下記のとおりです。詳細はHPをご覧ください。

日時:1日目:平成25年2月12日(火)13:00~16:30

2日目:平成25年2月14日(木)13:00~16:30

場所:尼崎市立労働福祉会館2階小ホール

参加費:2,000円(1日のみの参加の場合は、1,000円)

定員:各日30名(申込先着順。定員なり次第締切。)

プログラムは、第1回と同様です。

あい
こうべ 人 ウォーク 2013 **ご案内**

震災から18年の神戸を、あなたの足で歩いてみませんか?あなたの心のこもった「あい」を少し神戸のボランティア活動にわけて下さい。

1999年に第1回こうべあいウォークを開催し、第3回まで大勢の方にご参加頂きました。その後も毎年欠かさず「1.17」直近の日曜日に有志で続け、10年目の2009年より少し規模を拡大して復活いたしました。

このイベントは、震災から18年のときが経過した長田のまちをみんなで歩き巡り、まちの復興のプロセスや現状と課題を知ることを通じて、「市民社会」のあり方を次世代に伝えていくことを目的に開催しています。スタート地点での募金は、当基金を通じてNPO・ボランティア活動へ助成されます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

申込予約は不要です。当日所定の時間にお集まり下さい。

【開催概要】

主催:こうべあいウォーク2013実行委員会

((特活)しみん基金K O B E、神戸復興塾、(特活)神戸

まちづくり研究所、まち・コミュニケーション)

協力:近畿労働金庫地域共生推進部

開催日:2013年1月13日(日) 雨天決行

募 金:¥1,000~(お気持ち次第で結構です!)

スタート:受付9:30~10:00 随時出発

大国公園(JR鷹取駅南東徒歩5分)

ゴール :受付12:00~13:30

みくら5(御蔵北公園北:高速長田駅南徒歩3分)



全行程3~4Kmを、配布地図を参考にゴール目指して、それぞれのペースで歩いて頂きます。途中随所で案内ボランティアによる解説を聞くことができます。

しみん基金・K O B E 活動報告(2012年8月~2012年12月上旬)

【イベント・講演・研究会等】

**7月25日~8月31日 しみん基金 K O B E 助成事業・申請受付
及び、事前個別相談会(P2参照)**

- 8月2日 第2回ひょうごNPO研究会「地域円卓会議」
- 8月22日 第3回ひょうごNPO研究会「企業との関係づくり」
- 8月25日 第1回「ずっと・こころ・つなぐ基金」上映会&トークサロン
共催:岡本商店街振興組合 (P3参照)
- 9月7日 第2回「ずっと・こころ・つなぐ基金」上映会&トークサロン
@神戸映画資料館 (P3参照)

- 9月11日 シスメックス社・打合せ
- 9月13日 第4回ひょうごNPO研究会「NPO評価」

**9月20日~10月9日 しみん基金 K O B E 助成事業・
ヒアリング調査 (P2参照)**

- 9月24日 第1回寄附文化醸成セミナー・1日目 (P4参照)
- 9月26日 第1回寄附文化醸成セミナー・2日目 (P4参照)
- 10月2日 CSR 調査事業打合せ @CS 神戸
- 10月13日 第3回「ずっと・こころ・つなぐ基金」上映会&トークサロン
共催:(特活)アットホームホスピス (P3参照)

- 10月16日 シスメックス社・打合せ
- 10月20日 神戸先端医療産業都市市民公開 DAY パネル出席
- 10月22日 神戸市アドバイザー派遣事業 MTG
- 10月27日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西
日本地区版)実践編・第1回教室学習:オリエンテー
ション

- 10月30日 **しみん基金 K O B E 助成事業・公開審査会 (P2参照)**
- 11月6日 **しみん基金 K O B E 助成事業・覚書締結**
- 11月7日 共同広報事業・作業部会 MTG
- 11月8日 シスメックス社・打合せ
- 11月10日 ボランタリースクエア 21 パネル出席

- 11月10日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西
日本地区版)実践編・第2回教室学習:ヒアリング項目
抽出

- 11月12日 神戸市アドバイザー派遣事業 (特活)アミティエスポーツ
クラブ第1回派遣訪問 @神戸市東灘区

- 11月13日 市民ファンド意見交換会 @神戸市プラットフォーム

- 11月14日 シスメックス社・打合せ

- 11月20日 キャパシティビルディングフォーラム 主催:パナソニック
社・(特活)パブリックリソースセンター @東京

- 11月21日 助成実務担当者研修 主催:JFC @大津

- 11月23日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西
日本地区版)実践編・実習先団体((特活)プールボラ
ンティア)ヒアリング @大阪

11月27日 しみん基金 K O B E 助成事業・助成金交付

- 11月28日 神戸市アドバイザー派遣事業 (特活)Peace&Nature
第1回派遣訪問 @神戸市中央区
- 11月29日 神戸市アドバイザー派遣事業 第1回NPOステップアッ
プ連続講座「出てよかつと思う会議をつくろう」@KEC
- 12月4日 事業計画ブラッシュアップセミナー~第5回「資金調達」
主催:(特活)シンフォニー 講師:江口
- 12月6日 平成23年度助成事業・成果報告会(次号掲載予定)
- 12月8日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西
日本地区版)実践編・第3回教室学習:SWOT分析

【会議】

- 9月14日 平成24年度第2回理事会:書類審査(P2参照)

- 10月30日 平成24年度第3回理事会(P2参照)
助成先団体、しみん基金 K O B E 特別賞、事業成果報
告会について審議、年度内のこれからの事業活動に
ついて協議



古着リサイクル寄付のお問合せ&ご協力方法

あなたの古着がみんなの暮らしを支えます!

取扱可能なもの

洋服、着物、靴、バッグ、アクセサリなど

性別や対象年齢、シーズンなどは問いません。普
段着でもOKです。

ぬいぐるみなども一部、取扱可能です。事前にご相
談ください。

汚れたものや破れているものは取扱できません。あ
くまでも再販売が可能なものに限りです。

他にも取り扱い可能なものがあります。詳しくはお
問い合わせください。

ご提供の方法

1. お洗濯やクリーニングなどは、必ず済ませてくだ
さい。
2. 消えないしみや汚れ、破れのあるものは除いて
ください。
3. 直接お店にご持参いただくか、宅配便にてお店
へお送りください。
4. 送付の際、「しみん基金 K O B E へのリサイクル
寄付」と明記してください。
恐れ入りますが、送料は、送り主様にてご負担く
ださい。

提携店舗: オレンジスリフティ六甲店 URL: <http://kobe-haberdashery.com/othriftyrokko/index.html>
〒657-0027 神戸市灘区永手町3-1-208 TEL 078-858-7090 e-mail: othriftyrokko@aol.com



17年目のひとり言
～年の瀬に～



今年度の助成事業も無事に終了した。関係の皆様方、寄付を頂いた皆様方に心より御礼を申し上げる。唯、気になることが一つある。それは、申請団体数が減少していること、そして、申請団体が偏って来ていることだ。理由としては、東日本大震災以降、被災地を支援する為に様々な形で助成が行われていることや、企業のCSR活動の一環として市民活動への助成が増加しつつあること等、資金ソースの多様化が挙げられる。

当基金では、その設立趣意であった震災復興を支援する草の根基金から、市民活動のフィールドの広がりに合わせて、助成の対象先や次世代を担う人材の育成など、独自性を確保するための努力を行って来てはいるが、その成果が伴っていないことも事実である。

これから先、当基金が地元で根ざした、草の根的基金を存続させて行く為には、助成事業のあり方や対象先を更に推敲していくと共に、寄付先の多様化にも努力が必要だと感じている。

平成24年も間もなく終わる。自民党の大勝に終わった衆議院選、来年は一体どのような年になるのか。まずは、自分たちの足元を見つめ直すことから始めてみようと思う。

しみん基金・K O B E 専務理事 瀬戸口仁三郎

会員数とご寄付のご報告

正会員 個人 37名 団体 4団体
賛助会員 個人 43名 団体 11団体

(2012年11月末現在)

新規賛助会員一覧 (敬称略・順不同)

岡田明、正津房子、垣田宗彦、岡本商店街振興組合

寄付・募金合計金額 1,205,576円

寄付者・募金一覧 (敬称略・順不同)

中谷豊、中島秀男、飛田雄一、溝口幸子、山口一史
大野義保、森本樹、川戸美智子、武田政義
オレンジスリフティ、(財)敬愛まちづくり財団
第1～3回「ずっと・こころ・つなぐ基金」上映会&トーク
サロンの参加者の皆様

(2012年8月～2012年11月)

皆様方からの貴重なご厚志に深く御礼申し上げます。

次号の予告(2013年3月発行予定)

- ・平成23年度助成先事業成果のご報告
- ・こうべあいウォーク2013ご報告
- ・NPOマネジメント支援コンサルタント養成入門講座ご報告

「しみん基金・K O B E」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3,000円
団体会員 年間 10,000円

お申し込みは電話・FAX・メールなどで、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

<振込口座>

三井住友銀行 三宮支店 普通 7965892
みなと銀行 本店営業部 普通 1597921
近畿労働金庫神戸支店 普通 4161854
郵便振替 00990-5-157334
口座名義 「しみん基金・こうべ」



あ と が き

今年は1年間かけて、日本ファンドレイジング協会が今年から始めた認定ファンドレイザー資格取得に取り組んできました。まずは、准認定ファンドレイザーになるための必修及び選択研修へ参加(2月)し、6月末に試験を受けて合格。その後、さらに認定ファンドレイザーになるための必修及び選択研修への参加(10月)、課題レポートの提出(11月)、そして12月1日に資格取得試験を受験して来ました。結果は年明けに発表されるのですが、分厚いテキストを読み込んだおかげでファンドレイジングに対する考え方を整理できました。少しずつこの知見を活かしたいと思います。(え)